

シリア内戦

切迫した Idlib 攻撃-想定されるシナリオ

項 目次

- 1 略語集
- 2 北西シリアにおける紛争
- 3 国際政治情勢
- 4 シリア各地での紛争

略語集

AOG	反体制派
GoT	トルコ政府
GoS	シリア政府
GoR	ロシア政府
GoI	イラン政府
IS	イスラム国
KSA	クルド人自治区
PYD	クルド民主統一党 (YPG の政治団体で Hasaka の「事故統治」政治団体を主導)
YPG	クルド人民防衛隊
SDF	シリア民主軍 (その殆どがクルド人人民防衛隊 YPG により構成、主導され おおよそ 10%がアラブ族)
SDC	シリア民主会議 (SDF の政治部門)
SLF	シリア解放戦線 (アラビア語 - Jabhat Tahrir Suriya, 「穏健派」反体制派 (AOGs) 同盟。特に Ahrar Al-Sham 及び Nourredine Al-Zinki で構成される)
HTS	「ハヤト・タハリール・シャム」Hay'at Tahrir al Sham (「過激派」反体制派同盟。特に abhat al-Nusra)

この文書はジャパン・プラットフォーム内およびその関係者のみの利用に限ります。この文書は、JPF セキュリティアドバイザーの同意なく、再配布することを禁じます。

主に以下の2つを情報源として構成しています

al Jazeera articles

<https://www.aljazeera.com/indepth/opinion/battle-idlib-scenarios-180904074749602.html> and

<https://www.aljazeera.com/news/2018/09/syria-war-drones-crowd-idlib-skies-province-awaits-battle-180905091934175.html>

○ Mercy Corp Humanitarian Access Team Weekly Reports
08/09 - 08/15/18 and 08/16- 08/29/18

その他のソースは France24 を含む、地図は以下より引用

<https://syriancivilwarmap.com>

本レポートのほとんどのテキストがイタリック字体で記載されている。これは内容に推測に基づいていることを表している。このレポートでは現在の北東シリアの情勢を反映している内容だが、分析、視点や意見は筆者によるものである。

免責事項: この文書の目的は、情報と分析をし、アドバイスを提供することです。ジャパン・プラットフォームは、この文書に基づき、読者がいかなる行動や措置をとった場合でも、責任を負いかねますことご了承ください。

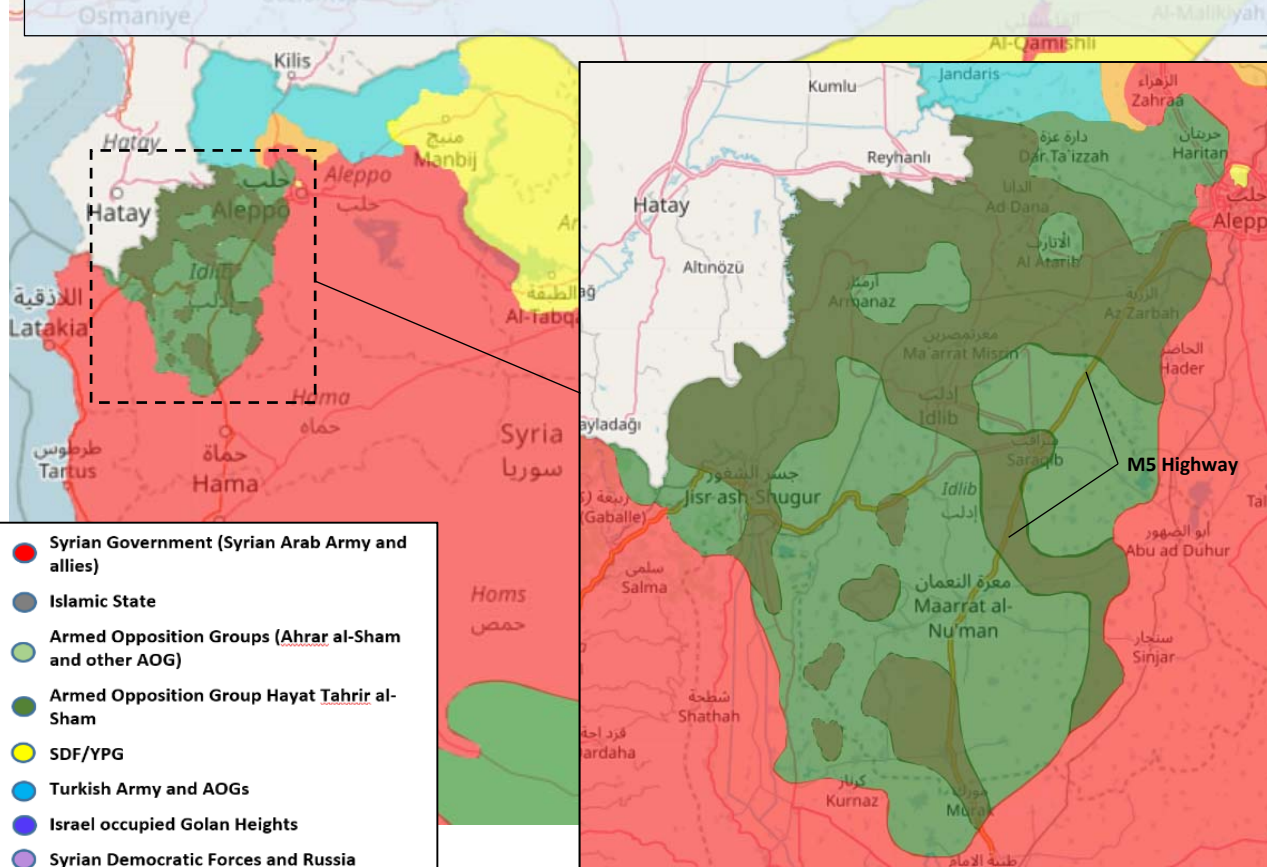
1. Scenarios (Map source <http://syriancivilwarmap.com>)

IDLIB への攻撃に対してロシア、トルコ、イラン政府が望む事:

ロシア: Putin は、Idlib 地域内におけるロシアの影響力を強め、米国を締め出しておきたいと考えている。これを達成するため、シリア政府が戦争に勝利する必要がある、そしてトルコとの関係性がより深化させなければならない。Putin はトルコ政府を米国、ヨーロッパから引き離し、NATO を分裂させなければならない。よって彼はまずトルコとの関係を最優先に、その次にイランとの関係を強化する。

トルコ: Erdogan は現在の経済混乱の最中で権力を持ち続け、トルコのクルド系 PKK と北東シリアの YPG の脅威を払拭したいと考えている。Idlib への攻撃により発生した大量の難民流入は、トルコ経済に更なる緊張を発生させ、シリアにおける Erdogan の冒険的な企てはトルコ国内で失敗に終わると見られてしまう。PKK と YPF への攻撃に対する更なる支援は削減させる可能性がある。

イラン: イランはスンニ派ライバルであるサウジアラビア、UAE、クウェートとバーレーンの予算を使って IDLIB 内の影響力を拡大したいと目論んでいる。そのためにはシリア政府が戦争に勝ち、イランからイラクとシリアを抜けて、ヒズボラへ繋がるシーア回廊地帯を機能させる必要がある。この回廊地帯はイスラエル国境地帯と地中海へイラン政府がアクセスする事を可能にする。



シナリオ1: 政府による攻撃はなし、トルコ政府が希望するシナリオだが、トルコが HTS やその他の「急進派」AOG と交渉し、彼らを解散させなければ実現しない。この数ヶ月の間、トルコは HTS が自身で解散を選ぶことを追求してきたが、その戦略は未だ成功していない。また、トルコは「穏健派」AOG がシリア政府と「停戦合意」をさせなければならない、今後、HTS とトルコが支援する AOG の間で紛争は起こりうるだろう。

シナリオ2:

限定された攻撃。 最も有力なシナリオは HTS やその他の「急進派」AOG によって支配されたエリア(本項に挿入された小地図に記載の深緑エリア)に対してわずかな武力攻撃を集中的に実施する事である。シリア政府のもっともらしい戦略的ターゲットは M5 ハイウェイになるだろう。シリア政府の限定された人的動力からみて、恐らくこのシナリオが彼らが希望するものだろう。ロシアとシリア政府は更にトルコが「穏健派」AOG と「停戦合意」を締結することを保証したいと目論んでいるはずだ。このシナリオはロシアにとっても望ましいオプションだ。何故なら人道的インパクトが比較的小さく、国際的な反発が低減されるからだ。最も、ロシア政府はこのシナリオでトルコ政府との関係性を維持し、米国を締め出すことが可能になるのだ。

シナリオ3:

総力戦攻撃。 恐らくイランが望むオプションだろう。戦いへの勝利は、クルド自治政府の支配化にある北東シリアシリア以外のエリアにおいてスンニ派の影響力を削ぐだろう。しかしながら、このシナリオでは人道的災害へと繋がリ、トルコにとって対規模な難民クライシスを起こし、広範囲で多くの命が失われるだろう。更にロシアとトルコ政府の間の大きくなるパートナーシップを壊し、Astana プロセスの終焉へ追い込み、そしてトルコ政府と米国が関係を再構築し、この地域への足がかりを得る事になるだろう。